

平成22年度事業計画

社団法人 全日本川柳協会

全日本川柳協会は、大衆文芸としての川柳のいっそうの普及を図り、川柳組織を強化し、連携協力の体制を充実させることによって、川柳の質の向上と地位の確立につとめ、わが国文化の発展に寄与することを目的として、平成22年度に次の諸事業を行う。また、とくに青少年に対する川柳の普及に務めるとともにインターネットのホームページを通じて組織の強化を図る。

1 第34回全日本川柳鳥取大会の開催

毎年都道府県持ち回りで開催する全国川柳大会については、本年度は次のとおり開催する。

日 時 平成22年6月13日(日)

これを機として、理事会、東西常任幹事会、総会を開催し、また前夜祭を行う。

場 所 とりぎん文化会館梨花ホール(鳥取県鳥取市)

大 会 事前投句一般4題、ジュニア3題、当日投句一般3題につき
入選句を発表する。

講演会を開催する。

表 彰 大会優秀作品及び、川柳功労者の表彰を行う。

2 第25回国民文化祭おかやま大会の共催

毎年文化庁、各県などによって持ち回りで開催される国民文化祭文芸祭については、本年度は次のとおり共催する。

日 時 平成22年10月31日(日)

場 所 久米南町立久米南中学校

大 会 小中学生の部、高校一般の部につき各入選句を発表する。

表 彰 大会優秀作品の表彰を行う。

3 NHK学園など主催の川柳大会の後援

NHK学園、太平記の里などの全国川柳大会、その他、全国の柳社から申請を受けた大会の後援を行う。

4 平成柳多留第15集など川柳書の発行

身障者や遠隔地の高齢者などにも参加可能な全国誌上川柳大会を開催し、優秀作品を表彰するとともに、作品集「平成柳多留」を発行し、また適時適切に川柳啓蒙書などを発行する。

5 第3回川柳文学賞の表彰

川柳の普及向上を目的として、毎年1年間に出版された川柳個人句集のうち、もっとも優れた川柳句集に対して「川柳文学賞」を授与する。

授賞式は福岡大会前夜祭にて行う。

6 「教科書に川柳を」運動の推進

小中学校、高校の国語教科書に川柳を掲載されるよう

前年度に引き続き運動を推進する。

7 川柳指導者の派遣

川柳指導者を学校のみならず、地域のお寺、お宮などの会場にも派遣し、正しい川柳の普及を図り、併せて地域の活性化に貢献する。その手始めに、全国に五か所をモデル地区として定め、川柳の講習を行う。

以上